

黒埼町の今昔

番外編

『黒埼町の今昔』が一冊の本になりましたので、著者の宮田さんにインタビュー

広報くろさきに昭和五十七年六月十五日号から連載が始まり、今年の八月号で百十三回を迎えた『黒埼町の今昔』が、このほど一冊の本にまとめられ、八月下旬に発行されました。著者である宮田栄門（みやた・えいもん）さんは十年近くにわたって、かつて黒埼町に住み、生きてきた人々の暮らしぶりを掘り起こし、広報読者の皆さんに伝えてきました。今回発行された本はその成果をまとめたものです。そこで、宮田さんにお話をうかがいました。

——前に出された『大野町の今昔』の発行からちょうど十年目にこの『黒埼町の今昔』が刊行されたわけですが、いつごろから一冊にまとめようと考えたのですか。「今昔」連載百回目にインタビューしたとき、「加筆修正して『大野町の今昔』のような本にしよう」と考えています。いつできるかは未定ですが」とおっしゃっていたわけですが。

宮田 確かにちょうど連載百回を迎えた時に一冊の本にしたいなあ、と漠然とですが思っていました。その後「一冊の本にして出さないか」という声をいろんな人から聞きまして、自分としてもよし出そうかと決心したのが昨年の十二月ごろでしょうか。

——一冊にまとめるにあたって特に苦労されたことは、どんなことですか。
宮田 広報に連載を始めてからずっと、特に一冊の本にして出そうとは考えてなかったものですから、なくなってしまう原稿やイラストがけつたりしました。

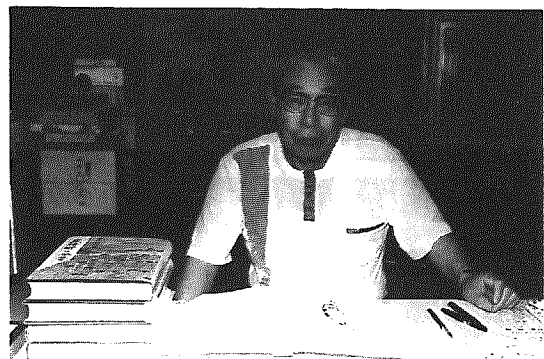


一冊にまとめられた『黒埼町の今昔』。カバーのイラストは宮田さん自筆の「鶴の湯」のようす。題字は浅妻町長によるもの

「黒埼町の今昔」はB5判六百七ページ。内容は大きく十五章に分けられ、目次から各章のタイトルを紹介すると「思い出の小学校」「冠婚葬祭」「風習行事」「村々の芸能」「縮立温泉」

こうありましたが、そうでない原稿も一度、最初から書き直しをしました。もともと夜型でない、朝型の人間なものですから、一冊の本にして出そうと決心してから、朝の三時、四時ごろに起きて、ストーブをつけて原稿書きをしたりしました。

を訪ねる「風呂屋盛衰記」「それぞれの柔の道」忘れざる人々」「山田島の今昔」「水との長い闘い」「挺身隊西へ東へ」「木場満行寺での学童疎開」「満州国移民の軌跡」「鳥原校沿革史」「帝都を救え、黒埼を救え、黒埼町の今昔」と題して宮田さんが執筆し、広報くろさきに昭和五十七年六月十五日号から今年の八月号まで連載した百十二回分と「黒埼町の今昔」と銘打たないで掲載された「桜井弥六の石像を福島県で発見する」「女子勤労挺身隊」「江戸時代の名大工若林本蔵」の、九年間にわたる原稿のほとんどすべてが、加筆修正されて収録されている。なお「鳥原校沿革史」は書き下ろし。



宮田栄門さん。自宅で、できあがった本を前に。

——写真が五百点以上ということ、パラパラとめくってみてもかなり写真を使っているなと感じましたし、宮田さん自筆のイラストも味があっていいと思いました。写真やイラストをたくさん入れたのはどんな意図からですか。

宮田 私自身、写真などの入っていない本というのは読みたいという気が起きないんです。それで、読む気を起こさせるには、写真やイラストをたくさん入れなくては、と思っていました。写真については、たくさんのかたからご協力をいただき、貴重な写真多数を快く貸していただくことができました。この場を借りて、ご協力いただいた皆さんに感謝したいと思います。

——本文中に多数の写真・イラストが収められている。巻末に収められている。——今回一冊の本にするにあたって、特に考えたこと、意図したことは。
宮田 近年、各家庭で夕飯を食べたあとのだんらんや、年寄りが孫たちに昔話をするということが見られなくなってきました。核家族化ということもあると思いますが、年寄りの昔の話というのは、子供たちにとってもいろいろためになるものだと思いますし、今の親たち自身が昔の黒埼の姿や昔の暮らしぶりなど、もう知らないと思います。せめて本・活字という形で、昔の人の暮らしなどを子供たちや孫

を訪問する「風呂屋盛衰記」「それぞれの柔の道」忘れざる人々」「山田島の今昔」「水との長い闘い」「挺身隊西へ東へ」「木場満行寺での学童疎開」「満州国移民の軌跡」「鳥原校沿革史」「帝都を救え、黒埼を救え、黒埼町の今昔」と題して宮田さんが執筆し、広報くろさきに昭和五十七年六月十五日号から今年の八月号まで連載した百十二回分と「黒埼町の今昔」と銘打たないで掲載された「桜井弥六の石像を福島県で発見する」「女子勤労挺身隊」「江戸時代の名大工若林本蔵」の、九年間にわたる原稿のほとんどすべてが、加筆修正されて収録されている。なお「鳥原校沿革史」は書き下ろし。

——「黒埼町の今昔」の執筆を続けるにあたって、意欲を燃やしておられるようですが、これから取り上げたいテーマは。
宮田 今月号は「黒埼町の今昔」を休みますが、十月号では、善久の公民館を戦後すぐですが、建てるに資金が足りなくて、青年団が楽団を作ったという話があります。山田でもそんな話があります。山田でもそんな話があります。山田でもそんな話があります。

総務課

入札結果

工事名	工事業者	請負額	完成期限	入札日
農道174号線舗装工事	㈱加賀田組	1,678.9千円	平成3年8月9日	6月11日
農道106号線舗装工事	三建舗装(株)	1,287.5	8月9日	6月11日
農道205号線舗装工事	福田道路(株)	6,386	8月9日	6月11日
町道善久15号線改良舗装工事	㈱国土	7,622	9月18日	6月11日
町道大野5号線歩道工事	㈱笠井組	2,266	8月14日	6月11日
山田1号幹線浚渫工事	青木環境事業(株)	1,699.5	8月7日	6月19日
興野幹線浚渫工事	新潟特殊企業(株)	1,472.9	8月7日	6月19日
黒埼町総合体育館屋根塗装工事	丸山興業(株)	26,677	8月26日	6月26日
集落道18号線改良舗装工事	㈱新潟廣瀬組	6,386	8月29日	6月26日
町道鳥原13号線改良舗装工事	㈱志賀組	2,111.5	9月3日	7月1日
善久4号排水路改修工事	㈱志賀組	1,905.5	9月3日	7月1日
大明5号排水路改修工事	㈱山際総合建設	4,573.2	9月28日	7月1日
前川原排水路改修工事	㈱笠井組	3,172.4	9月18日	7月1日
大野町裏線排水路改修工事	㈱樋口組	6,077	10月8日	7月1日
板井四番排水路改良工事	㈱新潟廣瀬組	1,699.5	8月29日	7月1日
木場小学校施設整備修繕工事	㈱山際工務店	2,626.5	8月27日	7月8日
黒埼中学校施設整備修繕工事	㈱小林左官土木工業所	2,369	8月27日	7月8日
黒埼町常民文化史料館便所工事	㈱篠原建設	1,699.5	8月31日	7月8日
町道山田立仏2号線測量、用地丈量測量道路設計委託	㈱北日本測量設計事務所	4,429	11月21日	7月15日
黒埼町立立仏小学校校内通学路新設工事	㈱赤川組	4,429	8月31日	7月15日
下水道基本計画策定業務委託	オリジナル設計(株)	30,076	平成4年3月27日	7月23日
集落道70号線改良舗装工事	㈱笠井組	6,283	平成3年11月6日	7月30日
寺地排水路改修工事	㈱赤川組	2,111.5	10月2日	7月30日
大野小脇排水路改修工事	㈱樋口組	2,121.8	10月2日	7月30日
諏訪町裏排水路改修工事	㈱笠井組	5,871	11月6日	7月30日
前川原ポンプ場外壁改修工事	㈱間組	8,343	11月12日	8月5日
町道鳥原的場線舗装(補修)工事	㈱志賀組	3,399	10月13日	8月5日
町道鳥原寺地線側溝改修(補修)工事	㈱志賀組	5,974	11月15日	8月8日



「大野町の今昔」

皆さんの人から聞かなくてはならないし、まとまった話になるかどうか...各地にあった池について、読者の皆さんからの情報をお待ちしています。——この『黒埼町の今昔』が出版されることをお知らせするため、町内の自治会長さんのお宅をみんな回られたそうです。宮田 「よく読んでいます」という声などをじかに聞くことができて、頑張らなくてはと思いました。これまでは、あんまり「今昔」について、読者の皆さんからの声をじかに聞く機会がなかったものから、うれしかったし、励みになりました。今後も、広報に「黒埼町の今昔」の連載を続けたいと思っています。

※広報くろさき昨年の七月号に、「黒埼町の今昔」執筆のきっかけなどをインタビューした記事がありますので、ご参照ください。
※「黒埼町の今昔」は一冊三千円(消費税込み)。注文・問い合わせは直接宮田栄門さんへ(大野諏訪町三三七七一四九五)。「大野町の今昔」も残部があります。一冊千五百円(消費税込み)。これも注文・問い合わせは直接宮田さんへ。